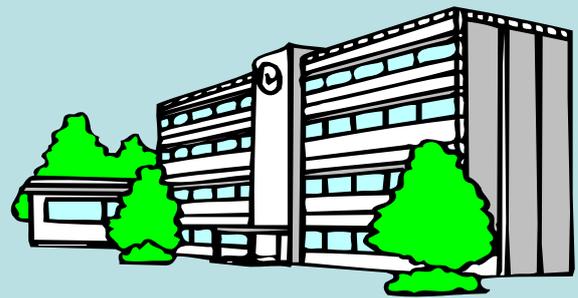


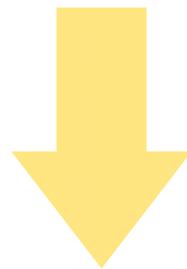
学校施設の評価の在り方について ～学校施設の改善のために～

文部科学省大臣官房文教施設企画部
施設企画課
平成24年5月



有識者による検討

親会議の下に「学校施設評価システム検討部会（部会長：上野淳首都大学東京教授）を設置し、平成19年8月から、学校施設の評価の在り方について検討を実施。



平成21年3月に、報告書「学校施設の評価の在り方について～学校施設の改善のために～（最終報告）」を取りまとめ

学校施設の評価はなぜ必要か？

学校施設の様々な課題

安全性

(耐震化・老朽化 等)

快適性

(バリアフリー化 等)

**多様な学習
活動への対応**

など

学校施設を計画的・効率的に改善して
いくことが必要

そのためには、

**学校施設の現状を総合的に把握し、評価
することが必要**

2

学校施設を評価するメリットは？

子どもたちにとってよりよい教育環境の確保

学校と設置者が連携して学校施設を評価し、教育環境を継続的に改善していくことによって、子どもたちにとって良好な教育環境を確保します。

効率的・効果的な整備・活用の促進

学校施設を定期的に評価することにより、効率的・効果的な整備・活用等の促進を図ります。

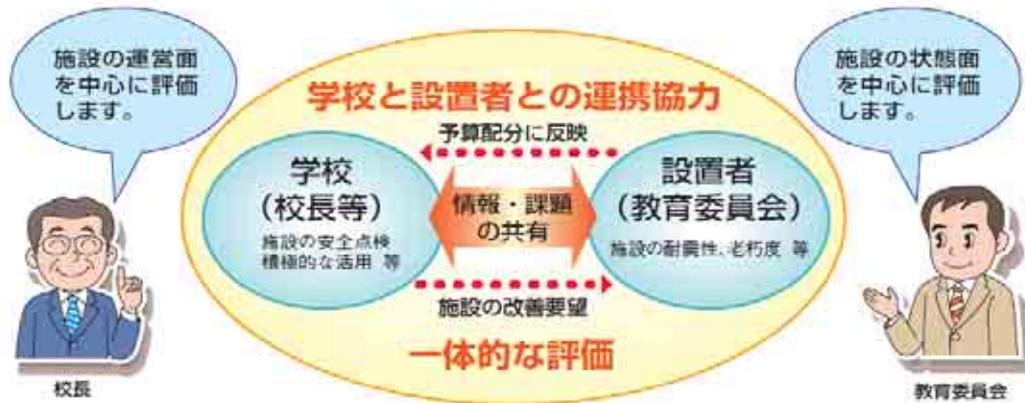
学校・家庭・地域の連携協力の促進

学校・家庭・地域が施設に関する課題等を情報共有します。また、教育環境の改善に向けた学校・家庭・地域の連携協力の促進を図ります。

3

学校施設をどう評価するの？

学校と設置者が連携協力しながら、学校施設の
状態面・運営面を総合的に把握し、評価

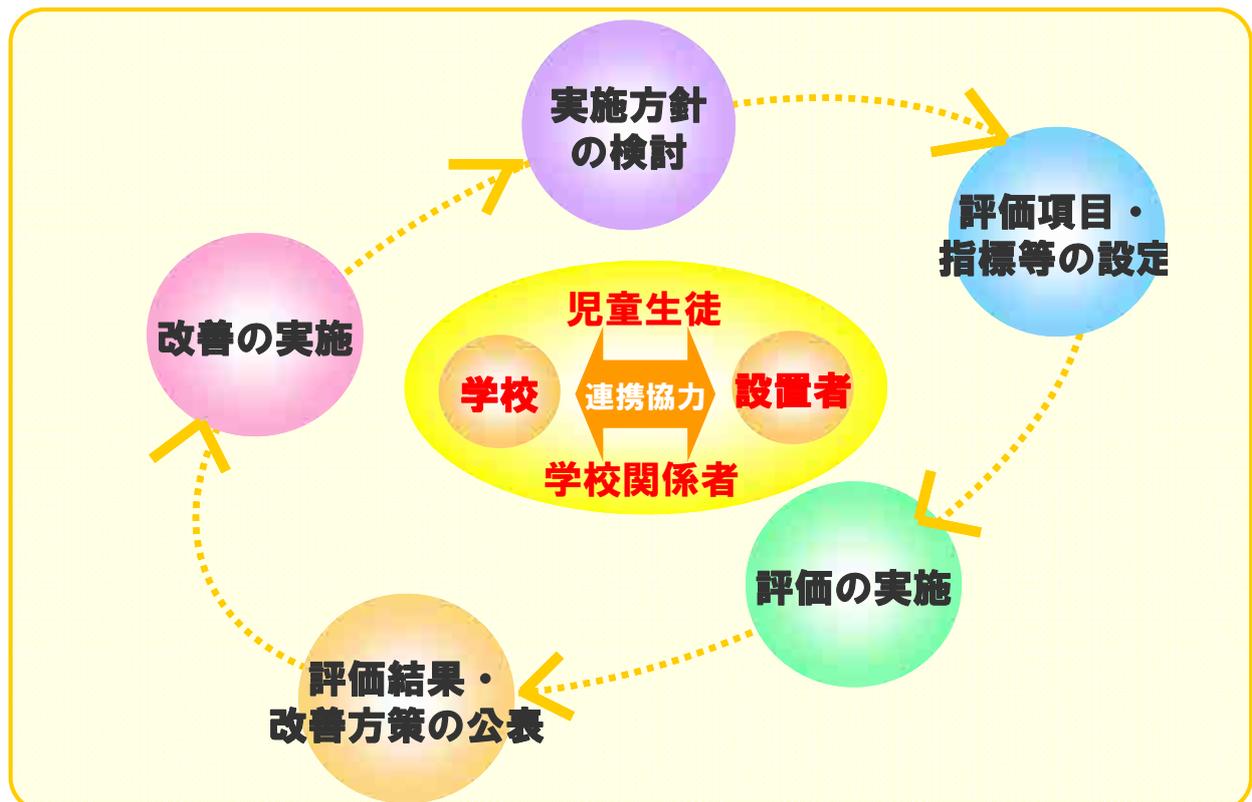


施設利用者(教職員・児童生徒)等との連携協力(アンケート調査、情報共有等)

学校建築関係の専門家等との連携協力(評価に当たっての助言等)

4

学校施設の評価フロー(イメージ例)



5

評価項目・指標等の設定(1)

各学校の特色や地域の実情等を踏まえた評価項目・指標等を設定

① 安全性

状態面の例

- 耐震診断及び耐震化の実施状況
- 老朽化対策の状況
- 防犯対策の状況
- アスベスト等の健康対策の状況 等

運営面の例

- 学校安全に関する計画の作成・実施状況
- 安全点検等の実施状況(日常点検・定期点検)
- 点検結果に基づく修繕等の実施状況 等



6

評価項目・指標等の設定(2)

② 快適性

- 室内環境の整備状況
- バリアフリー設備の整備状況
- 清掃・美化活動の状況 等

③ 学習活動への適応性

- 学習環境の量的な整備状況
- 情報環境の整備状況
- 学習活動における施設の活用状況 等

④ 環境への適応性

- 環境を考慮した整備の状況
- エネルギー管理の取組状況
- 環境教育における施設・設備の活用状況 等

⑤ 経済性

- 中・長期の計画的・効率的な修繕・整備の状況
- 既存施設をながく丁寧に使う取組の状況
- ランニングコストの適正化の状況 等



7

評価結果・改善方策の公表

■ 評価結果・改善方策の公表等

評価結果については、学校と設置者が連携し、保護者や地域住民等に対し公表するとともに、説明責任を果たしていくことが必要

■ 評価結果に基づく改善

学校と設置者が、評価結果及び改善方策を共有し、一体的な改善を図っていくことが重要